

皮膚病態学分野

A 欧文

A-a

1. Kashiya K, Nakazawa Y, Pilz DT, Guo C, Shimada M, Sasaki K, Fawcett H, Wing JF, Lewin SO, Carr L, Li TS, Yoshiura KI, Utani A, Hirano A, Yamashita S, Greenblatt D, Nardo T, Stefanini M, McGibbon D, Sarkany R, Fassihi H, Takahashi Y, Nagayama Y, Mitsutake N, Lehmann AR, Ogi T: Malfunction of Nuclease ERCC1-XPF Results in Diverse Clinical Manifestations and Causes Cockayne Syndrome, Xeroderma Pigmentosum, and Fanconi Anemia. *Am J Hum Genet* 92(5): 807-819, 2013 (IF: 11.202)
2. Fujimoto M, Matsushita T, Hamaguchi Y, Kaji K, Asano Y, Ogawa F, Yamaoka T, Fujikawa K, Tsukada T, Sato K, Echigo T, Hasegawa M, Takehara K: Autoantibodies to small ubiquitin-like modifier activating enzymes in Japanese patients with dermatomyositis: comparison with a UK Caucasian cohort. *Ann Rheum Dis* 72(1): 151-153, 2013 (IF: 9.111)
3. Ogawa A, Shimizu K, Yoshizaki A, Sato S, Kanda Y, Kumagami H, Takahashi H, Usami S: A case of palmoplantar lichen planus in a patient with congenital sensorineural deafness. *Clin Exp Dermatol* 38(1): 30-32, 2013 (IF: 1.329)
4. Mizokami F, Furuta K, Utani A, Isogai Z: Definitions of the physical properties of pressure ulcers and characterisation of their regional variance. *Int Wound J* 10(5): 606-611, 2013 (IF: 1.600)
5. Mine Y, Nakasone I, Yamamoto Y, Utani A, Yamane N, Uezato H, Takahashi K: Dissemination of Pantone-Valentine leukocidin-positive methicillin-resistant *Staphylococcus aureus* in Okinawa, Japan. *J Dermatol* 40(1): 34-38, 2013 (IF: 1.765)
6. Yagi Y, Muroga E, Naitoh M, Isogai Z, Matsui S, Ikehara S, Suzuki S, Miyachi Y, Utani A: An ex vivo model employing keloid-derived cell-seeded collagen sponges for therapy development. *J Invest Dermatol* 133(2): 386-393, 2013 (IF: 6.193)
7. Shimizu K, Ogawa F, Hara T, Yoshizaki A, Muroi E, Yanaba K, Akiyama Y, Yamaoka T, Sato S: Exogenous application of hydrogen sulfide donor attenuates inflammatory reactions through the L-selectin-involved pathway in the cutaneous reverse passive Arthus reaction. *J Leukoc Biol* 93(4): 573-584, 2013 (IF: 4.568)
8. Hamaguchi Y, Shirakawa T, Kuwatsuka Y, Ando S: A neonatal case of Japanese spotted fever. *Pediatr Infect Dis J* 32(11): 1286-1287, 2013 (IF: 3.569)

A-b

1. Hayashi S, Utani A, Iwanaga A, Yagi Y, Morisaki H, Morisaki T, Hamasaki Y, Hatamochi A: Co-existence of mutations in the FBN1 gene and the ABCC6 gene in a patient with Marfan syndrome associated with pseudoxanthoma elasticum [Letter to the Editor]. *J Dermatol Sci* 72(3): 325-327, 2013 (IF: 3.520)

B 邦文

B-a

1. 崎枝 薫, 山口さやか, 峯 嘉子, 高橋健造, 上里 博: Bazin 硬結性紅斑. *Visual Dermatology* 12(9): 934-936, 2013
2. 荻 朋男, 中澤由華, 佐々木健作, 郭 朝万, 吉浦孝一郎, 宇谷厚志, 永山雄二: 紫外線高感受性症候群責任因子 UVSSA の分子機能解析. *生化学* 85(3): 133-144, 2013
3. 浅井 幸, 小池雄太, 富村沙織, 竹中 基, 宇谷厚志: 長期観察中の色素性乾皮症 F 群の 1 例. *西日本皮膚科* 75(6): 508-510, 2013
4. 岩永 聡, 鍛塚 大, 楊井章紀, 清水和宏, 宇谷厚志: 肝血管腫を伴った congenital multiple hemangiomas の 1 例. *日本小児皮膚科学会雑誌* 32(2): 177-180, 2013
5. 一ノ宮 愛, 富村沙織, 宇谷厚志, 後田洋子, 本村秀樹, 森内浩幸: パルスオキシメータにより低温熱傷と褥瘡をきたした 1 例. *皮膚科の臨床* 55(2): 193-195, 2013
6. 浅井 幸, 鍛塚 大, 富田 元, 富村沙織, 宇谷厚志: 心筋障害を合併した全身性強皮症. *皮膚病診療* 35(10): 957-960, 2013
7. 竹中 基: 皮膚糸状菌、最近の動向. *皮膚病診療* 35(11): 1079-1085, 2013
8. 鍛塚 大, 小池雄太, 清水和宏, 宇谷厚志: 油症認定患者における IL-21, TGF- β の検討. *福岡医学雑誌* 104(4): 88-90, 2013
9. 小池雄太, 鍛塚 大, 清水和宏, 宇谷厚志: 油症認定患者における、制御性 T 細胞産生サイトカイン IL-10, IL-35 の検討. *福岡医学雑誌* 104(4): 91-94, 2013

B-b

1. 宇谷厚志: 【展望】真皮マトリックス異常による全身疾患 —弾性線維性仮性黄色腫—. *皮膚病診療* 35(9): 827-832, 2013

B-c

1. 宇谷厚志: しわ: 本当は弾性線維性仮性黄色腫. (宮地良樹 (編): 誤診されている皮膚疾患, メディカルレビュー社, 東京, pp.328-331 所収) 2013
2. 小川文秀: NSAIDs. (尹 浩信, 谷岡未樹 (編): 創傷と痛み 痛みのある皮膚の傷をどう治す? どう対処する? 金原出版, 東京, pp.53-56 所収) 2013
3. 宇谷厚志: 頸部・腋窩の敷石状黄色局面から疑う Gronblad-Strandberg 症候群. (土田哲也(専門編集): 日常診療にお

いて忘れてはならない皮膚科症候群, 中山書店, 東京, pp.198-201 所収) 2013

4. 宇谷厚志: リポイド類壊死症. (瀧川雅浩, 渡辺晋一 (編): 皮膚疾患最新の治療 2013-2014, 南江堂, 東京, p.117 所収) 2013
5. 宇谷厚志: 【皮膚の構造と機能】皮下組織. (富田 靖(監修), 橋本 隆・岩月啓氏・照井 正 (編): 標準皮膚科学 第10版, 医学書院, 東京, pp.19-20 所収) 2013
6. 宇谷厚志: 皮膚代謝異常症. (富田 靖(監修), 橋本 隆・岩月啓氏・照井 正 (編): 標準皮膚科学 第10版, 医学書院, 東京, pp.533-546 所収) 2013

B-d

1. 長谷川 稔, 浅野善英, 石川 治, 尹 浩信, 遠藤平仁, 小川文秀, 川口鎮司, 桑名正隆, 後藤大輔, 高橋裕樹, 田中住明, 藤本 学, 佐藤伸一, 竹原和彦: 本邦の強皮症早期重症例の経過に関する多施設共同研究—血清中の接着分子濃度の予後の指標としての評価—. 強皮症における病因解明と根治的治療法の開発 (厚生労働科学研究費補助金: 難治性疾患克服研究事業) 平成 24 年度総括・分担研究報告書, pp.15-22, 2013
2. 小川文秀: 全身性強皮症に合併する逆流性食道炎に対するエソメプラゾールの有用性. 強皮症における病因解明と根治的治療法の開発 (厚生労働科学研究費補助金: 難治性疾患克服研究事業) 平成 24 年度総括・分担研究報告書, pp.180-182, 2013
3. 宇谷厚志, 小池雄太: 油症認定患者における抑制性サイトカイン IL-35 の検討. 食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究 (厚生労働科学研究費補助金: 食品の安全確保推進研究事業) 平成 24 年度総括・分担研究報告書, pp.56-59, 2013
4. 宇谷厚志, 清水和宏, 小池雄太: 油症患者血中 Heat shock protein 27 の検討. 食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究 (厚生労働科学研究費補助金: 食品の安全確保推進研究事業) 平成 24 年度総括・分担研究報告書, pp.60-62, 2013
5. 宇谷厚志: 総合研究報告 弾性線維性仮性黄色腫の病態把握ならびに診断基準作成. 弾性線維性仮性黄色腫の病態把握ならびに診断基準作成 (厚生労働科学研究費補助金: 難治性疾患克服研究事業) 平成 23~24 年度総合研究報告書、平成 24 年度総括・分担研究報告書, pp.1-5, 2013
6. 宇谷厚志: 総括研究報告 弾性線維性仮性黄色腫の病態把握ならびに診断基準作成. 弾性線維性仮性黄色腫の病態把握ならびに診断基準作成 (厚生労働科学研究費補助金: 難治性疾患克服研究事業) 平成 23~24 年度総合研究報告書、平成 24 年度総括・分担研究報告書, pp.7-34, 2013
7. 谷岡末樹, 小川文秀, 宇谷厚志: 弾性線維性仮性黄色腫の病態把握ならびに診断基準作成: 皮膚科領域 1. 弾性線維性仮性黄色腫の病態把握ならびに診断基準作成 (厚生労働科学研究費補助金: 難治性疾患克服研究事業) 平成 23~24 年度総合研究報告書、平成 24 年度総括・分担研究報告書, pp.35-40, 2013
8. 服部友保, 宇谷厚志: 弾性線維性仮性黄色腫の病態把握ならびに診断基準作成: 皮膚科領域 2. 弾性線維性仮性黄色腫の病態把握ならびに診断基準作成 (厚生労働科学研究費補助金: 難治性疾患克服研究事業) 平成 23~24 年度総合研究報告書、平成 24 年度総括・分担研究報告書, pp.41-45, 2013
9. 吉浦孝一郎, 荻 朋男, 岩永 聡, 宇谷厚志: 弾性線維性仮性黄色腫の病態把握ならびに診断基準作成: 遺伝子解析領域. 弾性線維性仮性黄色腫の病態把握ならびに診断基準作成 (厚生労働科学研究費補助金: 難治性疾患克服研究事業) 平成 23~24 年度総合研究報告書、平成 24 年度総括・分担研究報告書, pp.67-72, 2013
10. 小川文秀: 全身性強皮症・限局性強皮症の皮膚病変. 長崎市医師会報 47(3): 21-24, 2013

B-e

1. 池原 進, 鋏塚 大, 宇谷厚志, 加藤丈晴, 牧山純也, 新野大介, 大島孝一: 二度の骨髄移植を行い、寛解状態を維持する芽球形形質細胞用樹状細胞腫(BPDCN)の1例. 西日本皮膚科 75(2): 182, 2013
2. 岩永 聡, 与崎マリ子, 八木洋輔, 前村浩二, 北岡 隆, 谷岡末樹, 田村 寛, 山本洋介, 服部友保, 荻 朋男, 宇谷厚志: 弾性線維性仮性黄色腫症患者の ABC6 遺伝子変異. 西日本皮膚科 75(3): 269, 2013
3. 小川文秀, 西 幸子, 松本周三, 横道智宏, 久林高市, 松尾洋介, 田中 隆, 宇谷厚志: 高機能椿オイルの機能性評価. 西日本皮膚科 75(3): 270, 2013
4. 峯 嘉子, 富村沙織, 西本勝太郎, 宇谷厚志, 五ノ井 透: Nocardia concava による原発性皮膚ノカルジア症の1例. 西日本皮膚科 75(3): 281, 2013
5. 小池雄太, 富田 元, 清水和宏, 西口奈菜子, 白川利彦, 虫本雄一, 山口清次, 宇谷厚志: ミルクアレルギー除去乳摂取が原因となったビオチン欠乏による紅皮症. 西日本皮膚科 75(3): 281, 2013
6. 一ノ宮 愛, 富村沙織, 宇谷厚志, 後田洋子, 本村秀樹, 森内浩幸: パルスオキシメータにより低温熱傷と褥瘡をきたした1例. 西日本皮膚科 75(4): 370, 2013
7. 荻 朋男, 中沢由華, 吉浦孝一郎, 光武範吏, 宇谷厚志: 紫外線感受性症候群責任遺伝子 UVSSA の同定と分子機能解析. 西日本皮膚科 75(4): 370, 2013
8. 東 美智子, 浅井 幸, 鋏塚 大, 竹中 基, 宇谷厚志: クロラムフェニコールによる接触皮膚炎の1例. 西日本皮膚科 75(4): 371, 2013
9. 村山直也, 清水和宏, 宇谷厚志, 江石久美子: Bazin 硬結性紅斑. 西日本皮膚科 75(4): 371, 2013

10. 浅井 幸, 岩永 聡, 小池雄太, 富田 元, 鋤塚 大, 小川文秀, 宇谷厚志: 臀部慢性膿皮症の 2 例. 西日本皮膚科 75(4): 371, 2013
11. 西本勝太郎, 陳 文雅, 竹中 基: *Microsporum canis* 感染症. 西日本皮膚科 75(4): 372, 2013
12. 浅井 幸, 小池雄太, 富田 元, 宇谷厚志: 広範囲な皮膚血管炎を生じた悪性関節リウマチの 1 例. 西日本皮膚科 75(4): 373-374, 2013
13. 鋤塚さやか, 鋤塚 大, 池原 進, 富田 元, 峯 嘉子, 田崎典子, 宇谷厚志, 濱口 陽, 森内浩幸, 中道聖子, 齋藤信夫, 永田克己, 古賀 崇, 古賀庸之: 長与町の日本紅斑熱の 3 例. 西日本皮膚科 75(4): 374, 2013
14. 八木洋輔, 鋤塚 大, 竹中 基, 宇谷厚志: 好酸球性膿疱性毛包炎の 1 例. 西日本皮膚科 75(4): 374, 2013
15. 峯 嘉子: 市中感染型 MRSA 感染症の最近の動向. 日本皮膚科学会雑誌 123(5): 808, 2013
16. 小川文秀, 浅野善英, 石井貴之, 川上民裕, 小寺雅也, 藤本 学: 創傷・熱傷ガイドライン 第 1 版の課題と改訂に向けた取り組み 膠原病・血管炎に伴う皮膚潰瘍診療ガイドラインについて. 日本皮膚科学会雑誌 123(5): 831, 2013
17. 浅井 幸, 富田 元, 宇谷厚志: 稗粒腫様特発性皮膚石灰沈着症をきたした Down 症候群の 1 例. 日本皮膚科学会雑誌 123(5): 969, 2013
18. 池原 進, 鋤塚 大, 宇谷厚志, 松井昂介, 齋藤信夫: 結核性リンパ節炎に合併した結節性血管炎の一例. 日本皮膚科学会雑誌 123(5): 990, 2013

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	0	0	3	38

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
宇谷厚志・教授	油症対策委員会委員	長崎県
宇谷厚志・教授	油症研究班班長	長崎県
宇谷厚志・教授	特定疾患対策協議会委員	長崎県
宇谷厚志・教授	運営委員、代議員	日本皮膚科学会西部支部
宇谷厚志・教授	理事	日本結合組織学会
宇谷厚志・教授	評議員	日本研究皮膚科学会
宇谷厚志・教授	評議員	日本皮膚悪性腫瘍学会
宇谷厚志・教授	評議員	日本乾癬学会
宇谷厚志・教授	世話人	日本褥瘡学会九州地方会
清水和宏・准教授	油症対策委員会委員	長崎県
清水和宏・准教授	代議員	日本皮膚科学会西部支部
竹中 基・講師	代議員	日本皮膚科学会西部支部
小川文秀・講師	評議員	日本褥瘡学会
小川文秀・講師	世話人	日本褥瘡学会九州地方会
鋤塚 大・助教	油症対策委員会委員	長崎県

競争的研究資金獲得状況

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
宇谷厚志・教授	厚生労働省	分担	難治性疾患克服研究事業 皮膚の遺伝関連性希少難治性疾患群の網羅的研究
宇谷厚志・教授	厚生労働省	分担	食品の安全確保推進研究事業

			食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究
宇谷厚志・教授	農林水産省	分担	農林水産省・食品産業科学技術研究推進事業（実用技術開発ステージ） ツバキ油等の安定供給と新需要開拓のための品質特性強化技術の開発
宇谷厚志・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究（C） 細胞外マトリックスに着目した創傷治癒研究
清水和宏・准教授	日本学術振興会	代表	基盤研究（C） 音ストレス増悪接触皮膚炎実験モデルを用いたガス状伝達分子 NO, CO, H ₂ S の解析
小川文秀・講師	日本学術振興会	代表	基盤研究（C） 全身性強皮症モデルマウスの皮膚硬化・肺線維症に対する vorinostat の効果
富村沙織・助教	日本学術振興会	代表	若手研究（B） 色素性乾皮症の迅速診断法の確立
鋤塚 大・助教	日本学術振興会	代表	若手研究（B） ケロイド発生病態におけるエピジェネティクス制御の検討
富田 元・助教	日本学術振興会	代表	若手研究（B） 細胞外マトリックス分子バーシカンと細胞遊走
富田 元・助教	コスメトロジー研究振興財団	代表	研究助成 創傷治癒における細胞外マトリックスの一つであるバーシカンの関与、RNAi による検討
峯 嘉子・助教	長崎大学	代表	平成25年度大学高度化推進経費（公募プロジェクト経費）によるチャレンジ支援事業 皮膚アミロイドーシス:アミロイド繊維の由来と形成機序
宇谷厚志・教授	宇部興産株式会社		合成部材を用いる細胞培養とその応用

その他

新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
鋤塚 大・助教	ひふの日に寄せて ニキビについてー医療機関で適切な治療をー.	長崎新聞	2013年 10月21日	「ひふの日」の市民公開講座の講演について紹介された。